

役員候補公募の会告

一般社団法人 日本リモートセンシング学会
会 長 若林 裕之

(一社)日本リモートセンシング学会は定款(本会学会誌 Vol. 32, No. 2(2012)の学会だより 123 頁~127 頁または学会ホームページ《学会定款》ページを参照)に従って制定された「役員等人事に関する内規」, 「役員候補選考に関する細則」及び「役員候補選考に関する内規」(本誌別ページまたは学会ホームページ《役員公募》を参照)に従い, 令和 5 年度選出の役員候補者を下記の要領で公募します。

立候補を検討される際の参考資料として, 令和 4 年度の役員構成及び令和 5 年度の留任予定者の一覧を別紙に示します。

1. 役員の種類及び予定改選定員数
 1. 理事
 2. 監事 (理事: 10 名, 監事: 1 名)
2. 役員任期
2 年
3. 役員立候補の資格
理事: (a) 定款に定める正会員(個人)である者
(b) 内規に定める本学会での会員履歴, 又はリモートセンシングに関する活動履歴を有する者
監事: 上記の(a), (b)に加え, (c) 役員経験者である者
4. 役員立候補の方法及び期日
自薦又は他薦による。別添の「役員立候補届出書」に該当事項を記入し, 令和 5 年 1 月 13 日(金)までに学会事務局に郵送(書留又は配達記録郵便)すること。(当日消印有効)
後日, 事務局より本人に受理した日付入りの受領証を郵送する。
5. 役員候補の選考(②, ③は改選数を越えた場合に限り)
令和 4 年 12 月末に役員候補選考委員会を設置し, 以下の手続きにより行う。
 - ① 令和 5 年 2 月中旬: 届け出のあった立候補者の資格審査・意思確認を行い, 理事及び監事について立候補者を確定する。
 - ② 令和 5 年 2 月末: 正会員(個人)に対し, 確定した立候補者名を記載した投票用紙及び各立候補者の経歴等を送付し, 郵送による投票を求める(投票期間 3 週間程度)。
 - ③ 令和 5 年 4 月中旬: 投票結果をとりまとめ, 理事会に提出し承認を得る。その後, 改選予定数までの理事候補者及び監事候補者を決定する。
6. 選任
5. によって選考された結果を総会に提案し, 議決を経て新年度役員(理事及び監事)が選任される。

備考: 本会告には, 立候補の検討に最小限必要と思われる事項のみを記載した。立候補に当たっては, 定款と共に関連する「細則」, 「内規」(学会ホームページ《役員公募》を参照)を確認されたい。

一般社団法人 日本リモートセンシング学会
令和4年度の役員構成及び令和5年度の留任予定者

種類	氏名	所属		(留任/満了)
理事	若林 裕之	日本大学	会長	留任
理事	岩下 圭之	日本大学	副会長, 40周年記念事業委員長	満了
理事	松永 恒雄	(国研)国立環境研究所	副会長, 表彰委員会	留任
理事	祖父江 真一	宇宙航空研究開発機構	副会長	満了
理事	浅田 典親	国際航業(株)	総務委員会	満了
理事	石井 景子	(一財)リモートセンシング技術センター	総務委員会	留任
理事	有安 恵美子	アジア航測(株)	財務委員会	満了
理事	神岡 久彰	(株)建設環境研究所	財務委員会	留任
理事	山本 浩万	(国研)産業技術総合研究所	編集委員会	満了
理事	亀山 哲	(国研)国立環境研究所	編集委員会	留任
理事	牧 雅康	福島大学	学術委員会	満了
理事	寶楽 裕	(株)パスコ	受託委員会	満了
理事	齋藤 尚子	千葉大学	企画委員会	満了
理事	作野 裕司	広島大学	研究委員会	満了
理事	島崎 彦人	木更津工業高等専門学校	対外協力委員会	留任
理事	永井 信	(国研)海洋研究開発機構	国際委員会	留任
理事	小川 健太	酪農学園大学	広報委員会および支部担当	留任
理事	渡邊 知弘	(一財)リモートセンシング技術センター	実利用委員会	満了
理事	伊東 明彦	(株)ツクリエ	事務局長	留任
監事	笠 博義	(株)安藤・間		満了
監事	小黒 剛成	広島工業大学		留任

備考:

- 1) 留任は令和4年度総会において承認された役員であり、定款の定めに従い令和5年度は満了して2年目を務める。
- 2) 満了は令和5年度総会当日をもって、2年間の役員任期が満了する役員である。

一般社団法人 日本リモートセンシング学会役員立候補届出書

①届出書の提出日： 令和〇〇年〇〇月〇〇日

②立候補者の氏名： 〇〇 〇〇

③立候補する役員の種類： 1. 理事 2. 監事

④推薦者の氏名（自薦の場合は立候補者自身の氏名を記入する。また推薦者が複数の場合、本欄には代表者名及び推薦者の数を記入し、推薦者のリストを別紙として添付すること）。

⑤立候補者を推薦する理由（200字以内で記述する。または本欄に「別紙」と明記のうえ、別紙を添付してもよい）。

⑥推薦者の連絡先（原則 勤務先）：

立候補者調書欄

⑦氏名： ⑧生年月日

⑨最終学歴：

⑩現職（立候補届出締切日現在）：

⑪連絡先：

住所：〒

電話：

ファクス：

E-mail：

⑫本会における会員履歴（正会員として本会に入会した年）：

⑬他の学会等におけるリモートセンシングに関する活動歴，またはリモートセンシングを業務とする組織の責任ある役職歴

：

⑭本会における役員経験の有無（有の場合は，就任した役員の種類及び期間）

：

⑮本学会の委員会等における活動履歴

以上，調書内容には間違いありません。

氏名（自筆）

印

(記入上の注意)

- 1) 他薦の場合①～⑥の項目は推薦者が、⑦～⑮の項目は被推薦者（立候補者）が記入する。また自薦の場合は全ての項目を本人が記入する。
- 2) ⑫～⑮の各項目は、役員候補選考委員会による資格審査のみに用いる。資格審査を経て確定した全ての立候補者についての⑦～⑩、及び、④～⑤を記載した候補者リストを作成し、有権者が投票する際の参考データとして投票用紙と共に有権者に送付する。
(注) 「役員立候補届出書」の希望者は、学会事務局に請求すること。
- 3) 「役員」とは理事（会長を含む）、監事のことである。